

子どもたちの健全な社会性を育てるために

～器物損壊にかかる指導と費用弁済へのご理解とご協力のお願い～

I ねらい

子どもたちに自己責任の自覚を促し、社会規範意識を育成するために、教育指導の一環として積極的に適用します。

※ 児童生徒の故意による器物損壊の発生件数（市立小・中学校）

平成24年度も、器物損壊の発生件数が減少しています！

年 度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
発生件数	1,028件	1,241件	1,126件	753件	734件	701件

II 内容

子どもたちが学校の窓ガラスやドアなどの公共物を故意（わざと）に、または、故意に近い状況で破損した場合に、その子どもの健全な育成を図る指導の一環として、修繕費用の弁済負担を保護者をお願いすることになります。

III 運用について

- 学校は、子どもが心をつまずきを乗り越えて、自己責任を自覚し、健やかな社会性を身に付けられるよう、ご家庭と協力して指導を行います。
- 学校は、指導の状況と弁済について保護者に相談しますので、お子様の成長に役立つよう充分なお話し合いをお願いします。
- 弁済額決定は子どもの成長の様子や発達段階などに配慮して変動させることもありますが、基本的な目安として、故意によるものは修繕費の100%、故意に近いものは50%とします。

IV お願い

- 器物損壊の弁済は、子どもたちの心豊かな成長をともに願う立場から行うものであり、以上の趣旨をご理解の上、積極的なご協力をお願いします。
- 子どもたちに公共心や責任感などの社会規範意識を育てるために、家庭や学校、地域社会が協力しあうことが必要です。善悪の判断については、ご家庭でも子どもたちの心情を理解しながら毅然とした姿勢で接していただくようご協力をお願いします。